

はたちのつどい「誓いの言葉」 発表者インタビュー



きたおか 北岡 優汰さん

二十歳を迎えるの気持ち

二十歳を迎え、「大人であること」「大人になること」を強く意識するようになりました。まだ学生という立場もあり、大きな責任を実感する場面は多くありませんが、はたちのつどいを終え、自身の発言や行動に責任が伴うことを、改めて実感しています。

あなたが思う御坊の良(よ)いところ

御坊市は幼い頃の私にとって「冒険の地」でした。そして今も、その輝きは失われていません。姿を変えつつも、変わらない煌めきを持つまちだと思います。

また、御坊祭は御坊市の最大の魅力であると感じています。私自身、幼い頃から祭に参加する中で、文化を受け継いでいく立場であることを実感してきました。御坊祭に向けて、まちが一つになっていく姿に強く心を惹かれています。

10年後の自分へ

辛く、苦しい経験もあると思います。その痛みが自分自身の光となることを信じて、自分の選んだ道を歩んでほしいと思います。思い通りにいかないことがあっても、自分自身を誇りに思えるような、そんな人でいてほしいです。

また、今よりもさらに御坊市への愛を深め、さまざまな形で御坊市に携わっていきたいです。

家族や友だちへ

家族や友人、そして多くの方々に支えられ、たくさんの愛を受け取り、二十歳を迎えることができました。普段はなかなか伝えることのできない「ありがとう」を、改めて言葉にしたいと思います。泣き虫で緊張ばかりしていた私が壇上に立つ姿を見て、少しでも成長を感じてくれていたら、嬉しく思います。



はたざき 畑崎 さつき 沙月さん

二十歳を迎えるの気持ち

やっと二十歳になれたんやあとという気持ちで、正直嬉しい気持ちです。私は誕生月が6月で、もう既に半年が経っているのですが、まだ二十歳になった実感が

ありませんでした。

でもはたちのつどいを迎えて、小学校の卒業式ぶりに会った友達、中学校の先生、いつも会っていい友達、振袖姿の綺麗な友達に会ったとき、二十歳になった実感が湧きました。

みんなが、勉強・スポーツ・仕事・育児・好きなこと、何かに頑張っていて、私自身もつと頑張ろうと思いました。本当にみんなと出会えてよかったです。

「誓いの言葉」発表に応募した理由

多くの人との関わりで、礼儀や人柄、優しさを吸収できて、間違ったことは叱ってもらえて、人として大事なことをたくさん教えてもらいました。このたくさんの人から受けた愛に、きちんと自分の言葉で感謝を伝えたくて誓いの言葉発表に応募しました。

このような二十歳の節目にたくさんの人に感謝を伝えられて、私の思いを届けることができて本当に幸せです。ありがとうございました。

家族や友だちへ

私と関わってくれた家族、友達、みんなのおかげで成長できて、こんなに幸せでいいのかなと思えるぐらい幸せな20年でした。母の死でどん底に辛かった私の心を全部幸せで埋めてくれた家族と友達の存在はすごく大きいです。

私は、はたちのつどいときに「周りの人に、伝えられるときに、『ありがとう、大好き』って伝えて」と言いました。これは私が伝えられず後悔している

からです。式典が終わってから、多くの友達が「沙月、ありがとう、大好き!!」って伝えてくれて、本当に嬉しかったし、ちゃんと聞いてくれていたことに驚きました。

私も本当にみんなと出会えて、仲良くなれて、この友達で良かったって思っています。本当にありがとう！大好きです！

私の家族のみんな、私は本当に多くの人に愛されていると感じています。それも全部、父ちゃんや母ちゃん、おじいちゃん、おばあちゃん、お姉ちゃんを作ってくれた環境があったからだと思います。優しいだけでなく、たくさん厳しくしてくれて、愛をいっぱいくれて、笑いがいっぱいある畑崎家が大好きだし、この家族だからこそこんな楽しい毎日を送れているのだと思います。本当にありがとう。私も二十歳を迎えたので、これからはいっぱい頼ってほしいし、たくさん恩返ししたいと思います。これからもよろしくお願いします。

御坊暮らし&御坊市内 企業紹介ハンドブック

「御坊暮らし&御坊市内企業紹介ハンドブック」(令和6年11月作成)では、御坊市の住みよさ・子育てのしやすさ、御坊市のまち自慢、移住定住施策など、御坊暮らしの魅力を紹介しています。右の二次元コードから、ぜひ一度ご覧ください。

